

令和6年度(2024年度) ハラスメントに関するアンケート結果について(概要)

1 アンケート実施日

学 生: 令和6年(2024年)5月

教職員: 令和6年(2024年)5月

2 アンケート対象者数

学 生: 1,657名

→ 新入生を除く学部生・大学院生(男性642名、女性1,015名)

教職員: 194名

→ 教員86名、事務職員26名及び非常勤職員82名(男性87名、女性107名)

※ 新任教職員を除く

3 質問内容

別添アンケート様式のとおり

4 調査結果

(1) アンケートの回収状況

◆ 回収率: 20.4% (学生: 13% 教職員: 83.9%)

参考: 令和5年度 回収率27%(学生: 19% 教職員: 99%)

< 学生 >

- ・ 学生ポータル内のお知らせ欄、学内メール及び学内10か所に掲示により依頼

< 教職員 >

- ・ 学内メールにより依頼

(2) 調査結果の内容

- ・ アンケートの結果、学生5名、教職員13名の計18名からハラスメントを受けたとの回答あり。(R5: 学生2名、教職員11人、R4: 学生8名、教職員9名、R3: 学生4名、教職員12名)
- ・ 内容は「アカデミックハラスメント」や「パワーハラスメント」等に関するものであった。
- ・ 学生については、学内の常勤教員からで、教職員については上司や同僚からが主であった。

(3) 相談員への相談

- ・ ハラスメント相談員に相談した件数 9件

(4) その他の意見・要望

- ・ 学生及び教職員から、ハラスメント問題に関する個人の考え方、ハラスメントの実例、人権問題等の課題や必要性等の記載があった。

(5) アンケートに関して対応する事項

- ・ ハラスメント相談員及び管理監督者向けにハラスメント相談対応研修を行う。
- ・ 教職員を対象に実施する人権研修を必須研修とし、アンケート結果を参考としたハラスメントの防止等に必要な研修を行う。